

町で働いている人となかよしになろう

~ 町探検で知り合いになった人とのかかわりをさらに深める ~

教科・領域 生活

実施可能学年 1・2年

なかよし大作戦の計画を立てよう

~ 繰り返してかかわることを通して ~

子どもたちは、地域にある施設や店などを訪問し、インタビューをするなどの町探検を行った。

1回目の町探検の学習後、探検した店の方からA児に届いたビデオレターを見て、「町で働いている人ともっと話したい、なかよしになりたい」という気持ちを強くもつようになった。

特産品センターで作っているところを見たいな。作り方も知りたいな。

もう一度パトカーを見たいな。運転しているお巡りさんにいろんなことを聞きたいな。

保育所の先生ともう一度遊びたいな。折り紙が上手だったよ。

バスがたくさんいるとき、バスセンターに行きたいな。運転しないとき何をしているのだろう。

そこで、2回目の町探検「なかよし大作戦」を実施した。もう一度行ってみたい店や施設などを決め、希望が同じ子どもでグループをつくり、町で働いている人となかよしになる作戦を練った。

きちんとあいさつをして、よく話を聞くよ。

たくさんインタビューして、学校のことも教えてあげたらなかなかなれるかな。

探検する前に手紙を出して、忙しくない時を聞いたらいいね。

どんなことをしているのかな。僕にもできることがあるかな。

各グループで、なかよしになるための工夫をいろいろ話し合う姿が見られた。

なかよし大作戦

~ 町で働いている人となかよしになろう ~

2回目の探検では、1回目の体験で気が付かなかったことに気付いたり、聞いてみたいことが増えたりするなど、働いている人と深くかかわることができた。

振り返りカードには、自分とのかかわりに関する気づきが多く見られた。

としょかんに行きました。本はぜんぶで5まん5千さつありました。あたらしい本もどんどんふえるそうです。たった4人であんなにいっぱいの本をきれいにならべているのですごいです。本をととても大切にしていることがよくわかりました。



しりょうかんのかん長さんは、むかしのことをなんでも知っていました。わたしもかん長さんのように、いろいろなことを知りたいです。

きょうは、バスセンターで、うんてん手さんがバスのまどをあらっているのを見ることができました。バスのまどがいつもきれいなわけがわかりました。うんてんしゅさんのしごとは、うんてんだけではありませんでした。

キャリア教育の視点から

子どもたちは、「町探検」で地域の人々との出会いを通して、地域に愛着をもつようになります。また、繰り返し探検することで、適切なかかわり方を身に付けたり、人々の仕事の工夫に感動したり、自分もその人ようになってみたいと憧れをもったりします。生活科でよく実践される町探検も、「人とのかかわり」「夢づくり」という視点から、取組みを工夫することができます。

ほいくえんに行きました。ほいくえんは、おとうさんとおかあさんがしごとをしていて、おせわをしてくれるおとながない子どもが入れるそうです。わたしは、はじめで知りました。



けいさつしょに行きました。パトカーには、遠いところにいる人とはなしができるマイクがついていました。何台かのパトカーがきょうりょくしてどろぼうをつかまえるのがすごいと思いました。

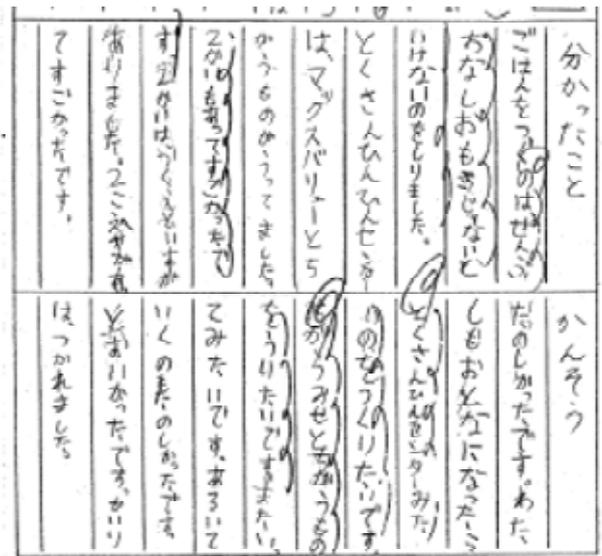
きかいでしなもののねだんをうっていました。わたしもやらせてもらったけど、きかいをうまくつかえませんでした。おじさんは、30くらいのしなもののねだんをあつというまにうつので、すごいと思いました。きょうは、店のおくも見せてもらいました。キャベツがたくさんありました。半分で売られているキャベツは、ここで切ってラップをまいていました。スーパーのひみつを見つけられてうれしかったです。

町探検を紹介しよう ～かかわりを深める～

探検後、分かったことや思ったことをまとめた新聞をお互いに紹介し合った。



(探検の様子を紹介する)



(「町たんけん新聞」の一部)

繰り返して探検したことで、多くの気付きをもつとともに、地域で働く人への憧れや自分の将来への夢を抱く子どもも見られるようになった。

教師は、そのような思いを共感的に受けとめ、価値付けるようにかかわった。

それにより、自分と地域の人々とのかかわりを、より深いものにすることができたと考えている。

(協力：平生町立平生小学校)